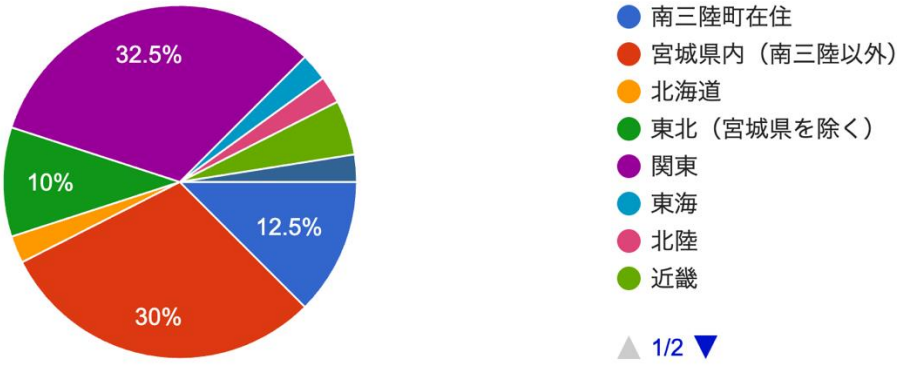
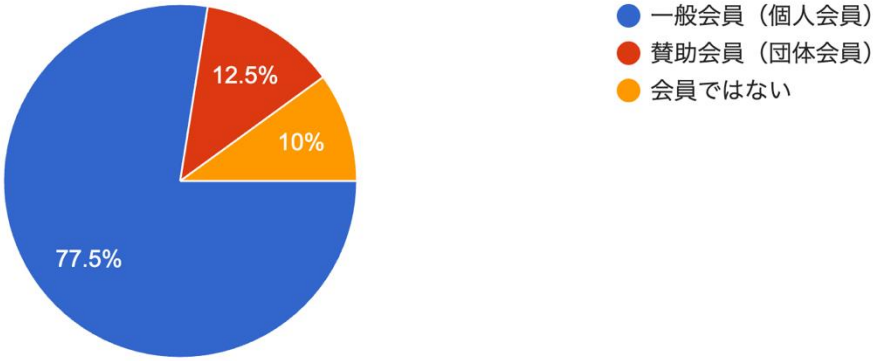
【第4回いのちめぐるまち学会大会　参加者アンケート結果】

どちらからのご参加ですか？

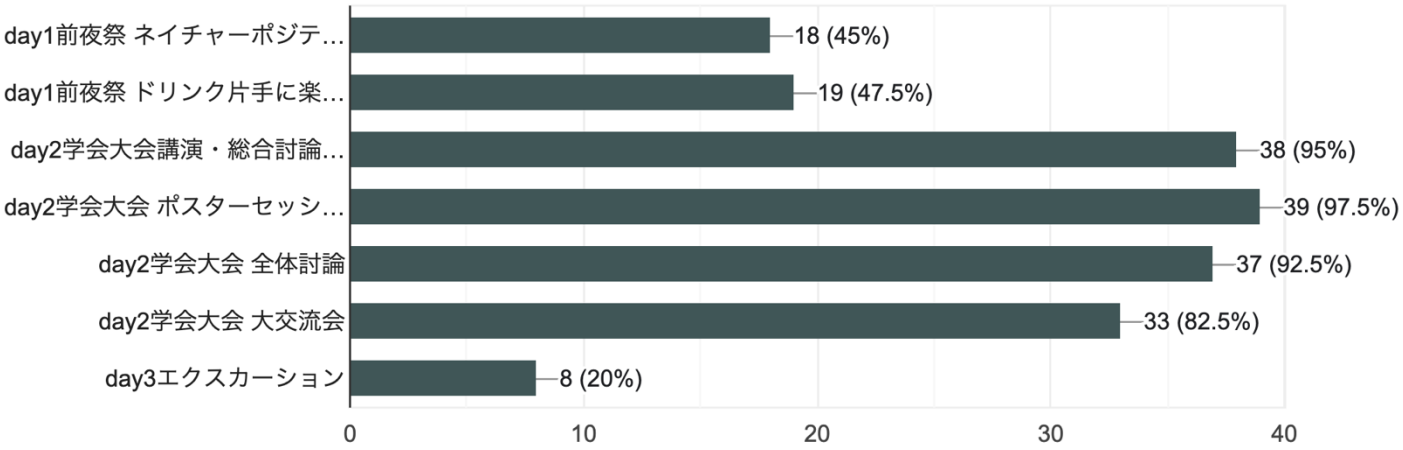


会員資格について

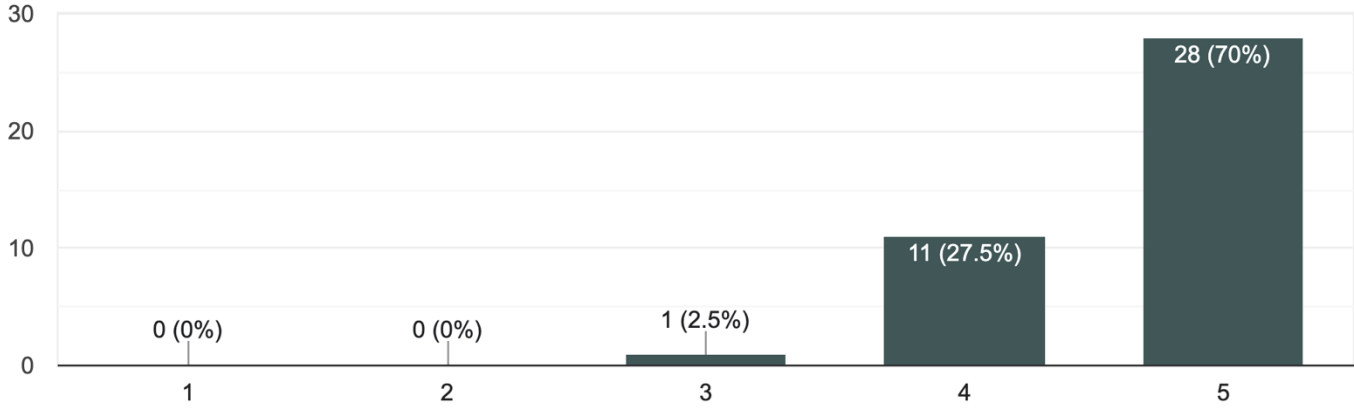


南三陸いのちめぐるまち学会を知ったきっかけを教えてください

あなたが参加したセッションをすべてチェックして下さい。



第4回大会の満足度はどのくらいですか？（５段階評価・数字が大きい程満足）



満足度の理由をお答えください。

〇年々アカデミックな内容は深化し、運営や発表は進化していてとてもワクワクしたから。
〇科学的な視点と市民活動等の視点の両方の視点から、南三陸のこれからについて触れることができて良かったです。
〇幅広い立場の対話の場が成立しており、ポスターも重めの発表からやわらかめの発表まであり、参加者全員が楽しめる内容となっていたため。
〇毎年実施ごとに内容が良くなっています。事務局お疲れ様でした。
〇様々な取り組みと知見を知り、意見交換できる
〇年々工夫され、楽しみながら考える会になってきている。

○台湾からの支援や交流の軌跡を理解できたこと。また、小学生や高校生の積極的な参加や発表もあり、ローカルからグローバルへ、そして過去、現在を見つめながら、南三陸の明るい未来をリアリティをもって考えることができたことです。
○地域を意識した討議、分野横断で地元の方の経験なども含めて議論したこと。
○台湾の皆さんのとても素敵なご報告と、高校生たちのポスター発表や学会大会での発表がとても素晴らしかったです。
○様々な分野や業界の熱心な方々と交流し、議論することができたため。
○特にポスターセッションでいろんな専門家と意見交換できた
○多様な町内外の南三陸に関わる方の取組、交流ができたため
○超学際の学会が良い
○分野・世代・職業とにかく多様でも、みんな同じ大きな目標に向いていることを実感できた
○多様な立場の方々から普段接することの少ない分野の取組についてお話を伺うことができた
○いろんな人の話を聞くことができた
○多様な参加者とユニークな企画内容
○多様な方々との出会い
○前夜祭のワークショップに、主催者側で参加したのみでしたので、満足度を評価するのは参加者の方々かなと思い、どちらでもない３を選択しました。所要があり他のセッションには参加できず、きっと内容も充実して楽しかったのだろうと想像します。来年は全参加できるように調整します。
○自由闊達な議論と交流があった
○ポスター発表しました。ポスター前でのディスカッション時間は十分とれていて、充実していました。
○多様な主体の発表があり、南三陸町や”いのちめぐるまち”の先進的な取り組みを知ることができたから。
○ 登壇者と発表者、参加者の距離が近く、真面目かつ和気藹々な雰囲気。
○何かが生まれるような、これからの可能性を感じられる場だったこと。
○多彩な内容、昨年からの継続発展と新しいトピック
○なかなか聞くことの出来ない台湾での取り組みや、南三陸高校生の発表を直接聞くことができ、台湾の方ともポスターで交流できたのがとても楽しかったです。
○活発な交流ができたから
○地域の魅力を地域内外の方々と共有することができた。
○地域における技術の利活用を目指す研究所として参加したところ、町の関心や課題意識などを広く知ることができ、水産業や町づくりなど多様な方の生の声も聞くことができたから。

○昨年度に続き2回目の参加でしたが、午前の部から午後のポスターセッション、全体討論と、全体を通じて参加者の熱量が高かった。新たな気づきや視点の学びも多く、ポスターセッションでは一次産業従事者と研究者と高校生が一緒になって対話できる時間となったのは素晴らしいと思う。

○新しい研究取り組みが先取りできるイメージがあり満足しております。

○研究者だけでなく、漁師の方々や高校生まで、幅広い方々と交流・ディスカッションができた。

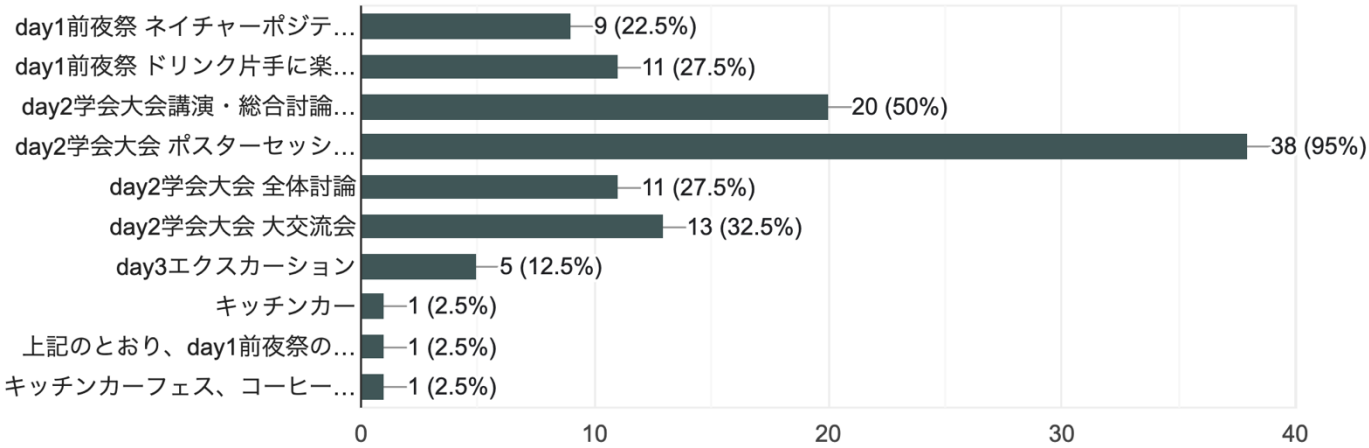
○参加したのは２日目のみですが、南三陸愛が伝わってくるとてもよい雰囲気の学会だと思いました

○台湾の方もいらっしゃって、発表内容が多岐にわたり、大変勉強になりました。

○前夜祭はもう少し交流の機会が多いとさらに良かったかもしれません

○小学生、高校生、南三陸で活動する人々などの発表を聞くことができたから

第４回大会の中で良かったと思うセッション・内容をあげて下さい。（いくつでも）



前問で良かったと思った理由や、特に印象に残った点などあればお書き下さい。

○近藤先生のお話はわかりやすく専門的なのですごいと思った。私たちにできることもわかりやすく提示されている。潮田くんのライトニングトークは要点を時間ぴったりにまとめていてすごいなと思った反面、大人の中には1分を守らない人も何人かいて(特に大学教授とかに多かった)観客としては残念な気持ちになった瞬間もあった。そこも含めて総じて良かった！

○台湾との交流に関する発表とその関係者の参加。ポスターも分野が幅広く興味深いものが多かった。

○エクスカーションでは皆が南三陸に興味がある事からとても真剣に説明を聞いてくれました。

○ファシリが見事でした
○ポスターセッションでは、様々な研究や地域の活動の内容を「つながり」を意識して聞くことができる、非常に充実した内容でした。また、前夜祭と学会大会講演での、台湾からの支援、地域の人々の感謝、台湾との交流の軌跡があり今日がある、ということを実感しました。南三陸は非常に温かい地域だと思っておりますが、その温かさがグローバルにもつながりを生み、その連鎖を生み出そうとしていることに大きな感動を覚えました。
○高校生が大会講演に登壇したことが良かった。
○当日キーワードを出しそびれましたが、公共事業の防波堤を地元の討議の末に後方に移動した経験は貴重です。何が成功の要素か知りたいと思いますし、他地域にも伝えたいと思います。
○ブルーカーボンについて報告がありました。藻場再生は大変重要な課題です（類似のテーマで人工林再生があります）。「CO2吸収量」を見ると現状推計で「町の排出量」比0.5%くらい（この数年で5分の1に減少したので減少前まで回復できる可能性。大会で報告されたクレジット量の約100倍、数年前の水準まで回復すると500倍、それでも南三陸町の排出量の2.5%)。一方排出削減は石油と電力の消費削減が大きく光熱費削減も大きいので、来年報告できればその比較もメインでなくても考えたいと思います。
○小学生や高校生、台湾の方々、実務者、地元漁師の方々など、多様な分野、立場の方々が参加している点。
○台湾の人たちの話は新鮮だった
○和やかな雰囲気の中、自由な交流が行えたため
○多様性が高いので
○ポスターセッションが楽しい、あっという間に時間が経つ
○前夜祭は、学術的にも大変面白いお話を美味しいワインを飲みながら聞くことができて、大変有意義でした。
○多様な研究者の発表
○ポスターセッションで、発表者の方々と直接語れるところが良かったです。
○様々な人が、様々な立場で研究・活動を発表していた。
○キッチンカーに並んでいる間、初対面の方とも雑談ができて、午後のポスター発表に向けて緊張が和らいだ。
○ポスターセッションで、経済学者・生態学者・カキ養殖漁業者・復興団体が一緒になってポスターを囲んで「なぜこんな研究結果が出ているのか？」と議論しているシーンが印象的だった。この学会にしかないディスカッションができていると思う。

○ポスターセッションでは、各所で活発な議論、意見交換が行われていたことが印象的で、勉強になった。

○ポスターセッションでは、たくさんの方々の想いを感じられたこと。 全体討論では、セットバックの経緯を聞けたこと。

○フラットに議論・交流できるところ

○ポスターセッションは時間が足りないと感じるほど充実した内容でした。講演は昨年までに比べると内容が分かりやすかったですが、せっかくなので研究者の講演を長くして専門的な話を聞いたり、地元の第一次産業の現場にいる方との本音のトークセッションが増えると良いと思いました。

○和やかな雰囲気での進行が良かったです。美味しいコーヒーのサービスも有り難かったです。

○地域の子どもたちの声を会場が暖かく受け入れてくれた場面が多かったこと。

○なにかトピック・展示を媒介にして自由に話せる時間は、特に多くの方と知り合う時間として有益だった。

○小規模＆ローカルな学会でありながら海外～老若男女の多様な発表者がいる点

○南三陸ならではのアットホームで温かみのある学会でした。エクスカーションやその他の機会を通し、例えば「今、まさに食べている・飲んでいるもの」の生産者など、地元の方と顔を合わせて対話でき、とてもうれしかったです。

○ポスターセッションに研究者と市民・実務者が同じように参加しているのがよかった。交流会は南三陸のものが食べられてよかった。

今回の大会の運営について、良かったところ、また、逆に改善点や不満に思ったところがあればお聞かせ下さい。

○コーヒーが無料なのはありがたい～。会場にマイクを回す時はスピード命なのでチンタラやらないでほしかった。

○堅苦しくなく、楽しい運営をされていて良かったです！ ワークショップの時間が、テーマに比べて短かったように感じました。

○同時通訳やコーヒーのサービスがあるなど、端々まで運営が行き届いていた。不満点としては、アクセスの方法が難しく、全日程の参加が叶わなかったこと。

○いえいえ。タイムスケジュール通りに進んでおり完璧です。

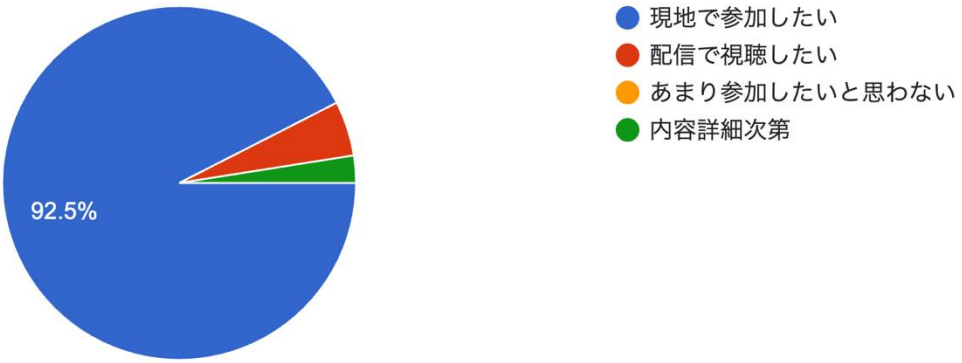
○いつもながら、大会の運営の皆様は非常に温かく、大勢の人を迎えられ、楽しく過ごせるように、細部までご配慮いただき、でも、それが押し付けがましくなく、無理しすぎる感じでもなく自然体で、いつもそのことに感銘し、心より感謝しております。

○回を重ねるにつれてスムーズになり、スムーズでありながら温かい対応で良かった。

○仕方がないことですがポスター発表すると同じ時間割り当てのポスター発表を聞きにいけません。
○南三陸という普段は行かない場所で多様な人たちが参加されていて他にはないユニークなイベント
○台湾の方の発表のところが同時通訳のスピードと異なり、あちらの伝えたいことが十分に理解できなかったと感じた。
○大交流会で、太一会長が寒そうなのが少し心配
○高校生が多く参加していて、また東京の小学生の発表もあって、未来を感じました。市民科学の理想の形が作られていっていると思いました。
○初めて参加した参加者が気軽に発言したり溶け込めるような場を雰囲気をつくってもらえると幸いです
○多様な研究者がより研究を発展させるための機会創り
○ポスターセッションは、もっと時間をかけても良かったと思います。
○シナリオづくりWSを含む前夜祭は、大変すばらしいプログラムだと思いますが、以下の点において、改善の余地もあるのではと思います。 1. グループワークでは、各班の人数が多く、議論する時間が短かったと思います。付箋に書くだけでなく、一人一人の意見を聞き、班のメンバーの間でもっと議論を深められたほうが良かったのではと思います。
2. 専門家の方々からの情報提供の時間が長い印象を受けました。各参加者の意見を多く引き出すためには、専門家の講義は必要最小限に抑え、グループワークの時間を長くしたほうがよいのではと思いました。（場合によっては、事前に資料を配布し、参加者に当日までに読んでおいてもらう、というのも一案かもしれません。） 3. グループワークの際、参加者が議論すべきテーマの伝達が、班によっては若干あいまいだったように感じました（ビジョンを考えるのか、ビジョンを実現するためにすべきことを考えるのか等）。
4. WS後の「ドリンク片手に楽しもう！」では、多くの参加者は、参加者同士の交流を求めているのではと思います。そうした中、講演の時間が長く、周囲の方々とあまり交流ができなかったのは若干残念に思いました。お一人数分間？の挨拶をして、あとは自由に交流、という形でもよいのではないでしょうか。
○午前中は寒かった
○全体討議の会場が少し寒かった。
○全体討議の前に通訳インカムを回収されたが、
台湾からの参加者の発言がないものとして進めるのには違和感を感じた。結果的に進行・通訳者は柔軟に対応しておられ、その点はよかった。

〇多様な主体が参加していたことが良かった。会場が少し寒かったので、次回は暖かい格好で参加したいと思った。
〇 興味があるポスターを回りきれなかったので、セッションの時間があと30分くらい長く欲しかった。
〇質問者用のマイクは、客席の両サイドに待機されていると進行がよりスムーズだったのではと思う。
〇前夜祭の内容の振り返りがあると、前夜祭に参加していない人も、より大会の面白みを味わえるかもしれないと感じた。
〇お昼時間が十分に確保されていたので、町の方々と交流ができて良かった。
〇最初に宮川さんの講演があったので、南三陸町と台湾の関係を知った上で、その後の大会に参加できた。
〇コーヒー良かったです。紅茶もあればなお嬉しいです。
〇お昼時間が長くてゆっくりご飯食べられたので良かったです。翻訳機の貸し出しなど、大変だったと思いますがスムーズか運営に感謝です！！
〇寒いのはいつもですが、いろいろ対策をしてくださって昨年よりだいぶ凌ぎやすかったです。ですが夜市はやっぱり寒いですね。
〇地域の方々がもっと参加できるような仕掛けがあると良いと思います。もっと多くの子供達にも、こんな場があることを知って体験してもらうことで、地域の大人たちの参加も促されると思います。そのためには、教育セクションを取り入れることが糸口になるかもしれません。 ポスターセッションの時間がやや長かった気がするので、もう少し短くするとちょうど良いように感じました。
〇下調べが十分でなかったが、町外からの参加者としては1日目のWSにおける情報提供で町の全体像（現状、このままの未来、理想の未来）をつかむのにかなり苦労した。ただ、全部を理解できておらず色々考えられなかったからこそ、その後町に住む漁師さんのお話を集中して伺えた面もあったかもしれない。
〇会場まで行くのが大変でした
〇バイリンガル対応が必要な中、運営は大変であっただろうと推察致します。言語面では少なくとも日本人側としては、ハードルなく、参加できました。 通訳の人数として限界があるのは重々承知の上、台湾の方のお一人一人との交流がもっとできたらよかったな、と思います。
〇交流会は楽しかったけど寒かった。もっと早く終わってもよかったかも？　同時通訳が行き届いていて、台湾の方の発表を問題なく聞くことができたのはとてもよかった。

次に南三陸で同様のイベントがあれば参加したいと思いますか？



今後のいのちめぐるまち学会大会で取り上げて欲しいテーマ・キーワード・内容をお答え下さい。

〇環境活動家の中にたまにいる(ような気がする)過激派のこと。フィリピンのこと。
〇地域とグルーバルは引き続き考えていきたいテーマ
〇「観光」関連はとても興味があります。
〇ミティゲーション
〇市民科学
〇出張「いのちめぐるまち学会」というアイデアは面白いと思います（もしくは同時中継）
〇生物多様性地域戦略
〇海の話が今までたくさん出てきているので、里や山に焦点を当てるのもよいのではないかと思います。また、２年前だったかの怪談（？）や、今回の台湾の方が話しておられた少数民族との協力のような、社会・人文的な面ももう少しプッシュしてもよいのではないでしょうか。
〇私たちにとって身近な、食料やエネルギーの生産を、グローバルな視点から、ネイチャーポジティブに変革していくためにどうすべきか、議論するのはいかがでしょうか。
日本はもちろん、南三陸町においても、食料やエネルギーの多くを、海外からの輸入に頼っており、海外での食料・エネルギー生産（例：パーム油、大豆、牛肉、家畜の餌などの生産、石油・ガスの採掘など）の過程では、世界中で多くの自然が失われています。
真にネイチャーポジティブな社会をつくっていくためには、こうした海外の自然への影響も、減らしていく必要があります。今回の大会を機に、よりグローバルな視点で、まずは食やエネルギーといった身近なテーマから、地域と世界との関係を考えていくのはいかがでしょうか。

〇再エネとネイチャーのハレーションが最近起きていることについて、両立のあり方を議論してみたい
〇カーボンクレジット、生物多様性クレジットなど環境→経済のところの問題
〇南三陸の林業・森林管理 / 里の知恵
〇EcoDRR
〇コレクティブインパクト
〇生物多様性、環境教育
〇森・里・海のつながりを真剣に議論
〇他分野連携
〇食料自給、栄養、健康
〇・流域 ・グリーンインフラ ・土の専門家や有機土木の専門家による講演
〇環境DNAが示す未来予測、チーム南三陸になるためのシナリオづくり
〇より多くの地域の皆さんが何かを実感できる内容
〇環境教育、市民科学
〇ネイチャーポジティブ、自然を活かしたビジネス
〇南三陸町で科学がどのように社会課題解決やウェルビーイング向上に生かされてきたか、生かされうるか
〇海洋酸性化

いのちめぐるまち学会主催で開催したい（して欲しい）研修会、活動等があればお書き下さい。

〇地質系の活動や研修
〇 ネイチャーポジティブな地域づくりにおいて活躍できるファシリテーター養成講習会
〇ネイチャーポジティブな社会をつくるのための「システム思考」研修会
〇来年度以降で会社の方でなんらかの形でエクスカーションの開催ができればいいなと考えています。開催方法などについて情報いただければありがたく思います。
〇学会を、時々、南三陸の外でも開催というアイディアに賛成です（外でそれを担ってくれる人たちがいれば）
〇現地に行くことが難しい人向けに、ウェビナーなどがあれば見たい人は多いのではと思いました。
〇オンラインでも参加可能な分科会
〇出張学会！

○自然環境分野や海洋分野、生物多様性などに関心のある中高生を中心にした企画。ユース版学会。全国の中高生にとっても、研究者と1次産業従事者とともに対話しながら未来を考える時間は刺激になるのではないかと思います。取り組みを発表して講評を受けて終わるのではなく、取り組みを深め各地域での実践をより進めるための時間となるような企画ができるととてもいいのでは、と思います。

○具体的にどうというのはありませんが、地元民・地元学生が主役のイベント

○東京など、南三陸外の場所で、南三陸の関係人口の方でのワークショップや活動などがあっても面白いかなと思いました。例えば、シナリオワークショップも、南三陸出身で現在必ずしも居住はしていない大学生や若手社会人などに議論してもらっても面白いな、と。S-21でも提案していきます。

○各地との交流企画。佐渡とか？

南三陸いのちめぐるまち学会に対するご意見・ご感想など、何でもご自由にお書きください。

○続けていくとどこかで身内ノリというか楽屋ウケというか、そういうのが楽なのでそっちに走ることもあるかもと思うので、そこは今のまま万人を受け入れるという姿勢を継続していってほしいと思います。運営たいへんお疲れ様でした。楽しかったです！！

○今後の地域の学術活動としてあるべき姿と感じました。とても意義深い学会だと考えています。来年もぜひ参加したいです。次年度は高校生の発表をもう少し多くエントリーできるよう私の方でも活動していきます。

○どうにもなりませんが、ポスターセッションで同じ組になった方の発表が聞けません。仕方がないですね。個別に聞きます。

○毎年本当に温かくお迎えいただき、どうもありがとうございます。今後「ふるさと住民登録制度」（https://www.mlit.go.jp/2chiiki_pf/files/250903_01_jumintouroku.pdf）もスタートしますし、こういった制度も活用されると良いと思いますし、南三陸町がさらに人々をひきつける町になるよう、継続応援したいです！

○新規参加してみたいと考える方が増えますように。

○環境対策を地域課題解決に活かすことを今後も地元の方々の知見をいただきながら議論したいと思います。

○本学会には、他の学会にはない、すばらしいところがたくさんあると思います。来年以降の大会も楽しみにしております。

○今回、台湾からの参加によって国際色豊かになり驚きと楽しさ、そして十分に交流できなかったもどかしさがありました。来年はそういったところのリベンジができればと思っています。

〇学会の中で必ず興味を持つことができるモノ・ヒト・コトに出会える感じがします。
これが実学の新しく理想的な学会スタイルなのでは？今回も楽しく有意義な学会を企画・運営いただきありがとうございました。
〇始めて参加させていただきましたが、非常に楽しかったです。運営の方はお疲れ様でした。
〇上述のとおり、今回は一部のみの参加で全貌がわかりませんが、次回はフル参加を目指します！
〇参加することを誇りに思える大会だと感じました。人間がやれることはまだ沢山あって、やろうとしている人々もいて、希望が持てました。 余計なお世話かもしれませんが、町内からの参加者がもっといても良いのにと思いました。きっと町民であることを誇りに思えるのでは、と思います。
〇素晴らしい縁を頂きました。長く続くことだ大事だと思います。
〇回を重ねる事に見知った顔が増えて嬉しい反面、全てのプログラムに参加している方たちとの交流時間との差もあり、内輪感を感じるシーンがありました。（結束を固めるにはいいことなのですが）初めて来た方や繋がりが薄い方との積極的な交流への工夫があるといいかな、と思いました。（名札に参加回数を書くとか） また来年を楽しみにしています！
〇いつも心遣いが行き届いた運営をありがとうございます！
〇登録等、遅くなりご迷惑をおかけいたしました。丁寧なご対応、本番の運営、誠にありがとうございました。
〇企画準備や当日運営など、おつかれさまでした。今回も充実した学びの時間となりました、ありがとうございました。
〇皆さんも言及されていましたが、今回は小学生～高校生の活躍が目立ちました。ぜひ、そうした児童生徒が普段の学びを発表したり、町外の大人と対話する機会としてもっと活用されていくことを期待しています。 また、ポスターセッションなどだけでも地元の方が無料でふらっと立ち寄れるような場所で開催されたりしても、面白いのではないかと思います。私は研究者の立場でありますが、南三陸の皆さんから頂いているものはとても大きく、それを還元したり共有する形が重要だと感じています。 企画・運営・撤収まで大変お疲れ様でした。また皆様に会いに南三陸伺います！ありがとうございました。
〇お世話様でした